



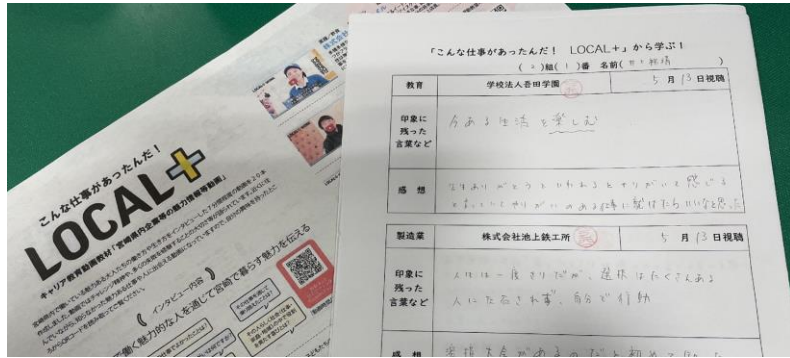
キャリア教育動画「LOCAL+」の実践事例

生徒の声（日記より）

- ・どの職業の方もやりがいを感じていてすごいと思った。
- ・今日は授業でいろいろな職業について動画を見て調べました。世の中にはいろいろの僕の知らない職業があることに気づきました。もっとくわしく調べてみたいです。
- ・知らない職業がたくさんあり興味深かったです。私はまだ自分の将来の夢が決まっていないので、見つけられたらいいです。
- ・やっぱり自分の好きなことを仕事にしていました。私は手を動かしたり人と話すことが好きなので、歯科衛生士になりたいと思い、これから叶えられる人になろうと思います。

授業で活用している先生方のコメント

- ・いろいろな業種の動画になっていて、見やすかった。
- ・いつでもどこでも見られるので、活用しやすかった。
- ・キャリア教育に有効である。
- ・動画の質が高いと感じた。



宮崎県内企業等の魅力情報等動画（LOCAL+）のキャリア教育動画教材について

こんな仕事があったんだ！

LOCAL+

キャリア教育動画教材「宮崎県内企業等の魅力情報等動画」

県内で働いている魅力ある大人たちの働き方や生き方をインタビューした7分程度の動画20本を作成しました。動画ではチャレンジ精神や、失敗を経験することの大切さ等が語られています。近くに住んでいながら、知らなかった魅力ある仕事や人に出会える動画になっています。

アクセス方法は、右のQRコードを読み取っていただくか、宮崎県キャリア教育支援センターHP、または、宮崎県教育研修センターHPからアクセスしてください。

【動画紹介：株式会社グローバル・クリーン】



お掃除を通して「多様な人たちが働き、地域に貢献する」。女性、高齢者、障害がある人、外国人、働き辛さを抱えた若者…にとって働きやすい職場づくりをめざしています。「壁や失敗を恐れず、チャレンジして欲しい。失敗から学ぶものが必ずある」…変化の激しい時代に生きる子供たちへの社長からのメッセージです。

県教育研修センターでは、研修に来られた先生方に対して、研修前の時間や昼休み時間に動画を放映しています。



PICK UP INTERVIEW

子どもたちが日常的にまちづくりを意識する仕組みを目指す、都農町のキャリア教育。「未来世代の人づくり」に取り組んでいます。

官民連携によるキャリア教育プログラムを実施している都農町キャリア教育支援センター。まちづくりの視点で、キャリア教育を設計し、子どもたちが日常的にまちづくりを意識する仕組みを目指しています。

開所した令和3年5月から1年が経過。中西センター長と、事務局を務める一般財団法人つの未来まちづくり推進機構（以後つの未来財団）業務執行理事の山内さんにお話を伺いました。

中西 浩美

(なかにし ひろみ)
昭和58年に小学校教諭となり、平成13年から県教育委員会で社会教育主事等として勤務。平成26年から日向市の3校で校長を務め、令和2年4月に、故郷である都農町の都農東小学校長へ異動。退職後の令和3年4月都農町教育委員会の対策監に採用、同年に開設した「都農町キャリア教育支援センター長」「都農町地域学校協働本部長」に就任。



山内 大輔

(やまうち だいすけ)
平成15年4月都農町役場入庁。税務課、産業振興課、財政課等を経て令和2年度より一般財団法人つの未来まちづくり推進機構業務執行理事となる。都農町キャリア教育支援センターの立ち上げに携わり、現在、事務局に務める。二児の子育てをしながら町の未来人材の育成に邁進中。



――センターが設置されて1年が経ちました。これまでの取組をダイジェストで教えてください。

都農高校が閉校となった背景もあり、まずは町内唯一の都農中学校に注力することになり、キッズニア東京の立ち上げ経験もあり、キャリア教育に熱い思いをおもちだった株式会社イツノマ（以後イツノマ）の中川代表に都農中学校のキャリア教育のコーディネート業務をお願いしました。

その後、総合的な学習の時間を活用し、町の課題をリアルに捉え、起動人材をつくる「つの未来学」、そして、職場体験の充実化を図り、生徒自らが事業所の課題解決策を提案する「つのワク」を導入しました。つのワクでは、デジタルもうまく活用し、その事業所の魅力や職場体験プログラムの内容を中学生もいつでも見られるWebページを作成しました。また、職場体験最終日には、事業所が都農中に一堂に会し生徒と車座になって対話する「つのワクサミット」も実施しました。

――印象に残っているエピソードはありますか。

都農町を魅力的にするために、生徒たちが職場体験先の藤見陸上競技場を管理するNPO団体さんに「ドッグランを設置してみてもいいですか？」という提案を行ったのですが、なんとその事業所さんがアイデアを採用してくださり、実際に藤見公園にドッグランのコーナーが設置されました。

――今年度力を入れていくことや、新たに計画している取組があれば教えてください。

都農中では各学年、総合的な学習の時間の15時間を使って、課題解決型の学びを展開しています。どの学年も都農のまちづくりに関連したテーマを設定しています。1学期も、3年生は、イギリスやオランダ等とオンラインでつながり、各地域の「ゼロカーボン」の取組について学び、交流する学習を行いました。

――突然ですが！都農町の「官民連携」でのキャリア教育実現の秘訣をお尋ねします。何から始めるのがよいでしょう。

役場や民間など異なる人と人との「つなぎ役」となれる、多様なバックグラウンドやパイプを持つ仲間を見つけることが第一歩ではないでしょうか。その中核となるメンバーは、日頃のルーティン業務に囚われることなく、柔軟に動ける体制も、とても大切です。都農では、都農町×つの未来財団×イツノマが強力タッグを組んで、今の体制ができています。

――今後の意気込みを教えてください。

山内さん：都農町で育児真っ只中だからこそ、自身に重ね合わせながらみらい人材を育てて行きたいです。

当事者として、幼・小・中一貫して、子どもたちが育ち、学べる環境の充実を図っていきます

中西さん：子どもたちが、様々な場面で多様な大人と関わる場を充実させたいです。そのために、「こんな人がいるんだ！」を発掘し、仲間を増やし官民連携の体制であるセンター機能の充実にも努めます。

宮崎県キャリア教育支援センター

〒880-0835 宮崎市阿波岐原町前浜4276番地729（宮崎県教育研修センター内）

電話番号：0985-24-3156 FAX番号：0985-24-3578

WEBサイト：<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc058/>

お問い合わせフォームはこちらのQRコードから

